



特集

平成23年度のまちづくり事業を振り返って (その1)

教育・文化実行委員会



当初、実行委員の全員が、当実行委員会の事業を理解しておらず、昨年度の事業報告や以前の委員の方に教えていただきながら活動しました。委員会の会議や事業でも、それぞれに仕事などで都合をつけることが難しく、委員全員が揃ったことは一度もありませんでした。しかし、その中でも協力し合って一年間事業を実施できたことが委員の方々の努力と協力のお陰であると感じたいします。

また、事業の中には、これからも続けて後世に引き継ぐべき大切なものや、自分自身が無知であったことに気づかされることもあり、少しでも携われたことに喜びを感じた一年でもありました。

◆反省点◆

当委員会として、事業の趣旨などを委員が理解していなかったため、前年度事業をそのまま引き継ぐだけの活動になってしまい、新たな取り組みができなかった。

各区から委員として選出されているが、委員としての責任を理解し、まちづくり協議会のメンバーとして、各実行委員会の活動に積極的に参加することが地域の活性化に繋がると感じました。



健康・福祉実行委員会



委員会のメンバーの協力が大変良かった。事業終了後、「広報誌みぶの」にその都度、事業の結果を掲載してもらったことが励みになり、いろんな意見を聞いたことで委員会として反省ともなった。

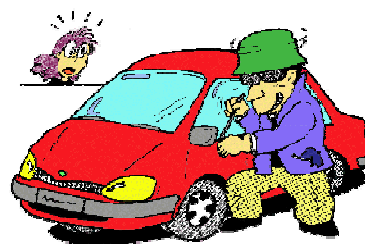
1、ウォーキングの実施では、夏、冬共に白藤の滝への往復コースを選んだことで、深緑、紅葉の両方を楽しむことができた。また、紅葉の時は、白藤の滝の入り口で信州直入の茸と味噌によるキノコ汁のふるまいは最高であった。参加者数も良かった。

2、壬生野まつりでは、健康測定器具の利用参加者から日常の食事や運動に心がけていることで、結果がよいという声を聞かせてもらったことがとても役立った。

近隣地域で車上狙いが多発。

伊賀地区防犯協会からのお知らせ

車から離れる時は ドアロック。



5月の連休明けから伊賀市内で、早朝、昼間、夜間を問わず車上狙いが9件発生しています。発生場所は、上野新町、上野寺町、上野中町、上野愛宕町、下友生、緑が丘東町、柘植町、服部町です。

被害状況は、無施錠の自動車からが3件、施錠自動車の窓ガラスを割ったものが6件です。被害のほとんどが、外から見える場所にカバンなどを置いていたもので、犯人は数秒で窓ガラスを割って盗んでいきます。

窓ガラスを割って盗む手口から同一犯の犯行と思われる、窓ガラスを割るための工具類を所持しているものと予想されます。長時間車に乗って駐車している不審な車や、駐車中の自動車の近くで不審な行動をする者を見かけた時は、自動車のナンバーを控えるなどして警察に通報して下さい。

また、被害を防ぐために「自動車は金庫代わりにならない」ことを自覚して、

- ①短時間でも車から離れる時はドアロックする。
- ②車内にカバン等を放置し、貴重品があると思わせることは絶対しない。
- ③車の異常を知らせる防犯装置を装着する。

が必要です。



ノハナショウブ を見に行こう !!

教育・文化実行委員会主催で、西之澤地区の群落(県指定天然記念物)のノハナショウブ観察会を下記のとおり実施します。今年も壬生野小学校3年生の児童が社会学習の一環として参加してくれます。

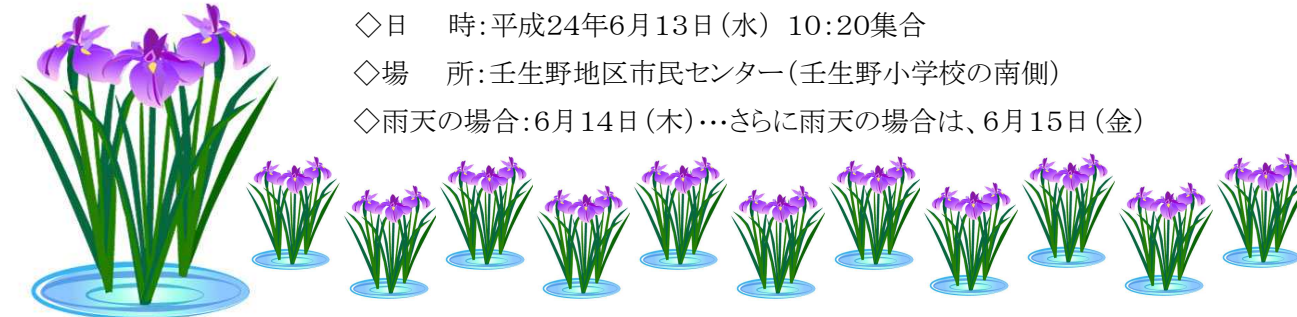
是非、皆さま方も一緒に参加してみませんか？

詳しくは壬生野地区市民センター(電話45-8900)までお問い合わせ下さい。

◇日 時:平成24年6月13日(水) 10:20集合

◇場 所:壬生野地区市民センター(壬生野小学校の南側)

◇雨天の場合:6月14日(木)…さらに雨天の場合は、6月15日(金)



編集後記

6月になりました。衣替えの季節になりました。夏への衣替えは、うっかり上着を着て外出してしまったとしても、上を1枚脱いだりすることでその場をしのぐことができます。衣替えの時期を快適に過ごすために、天気と気温や風速、風向きにも気を配ることで、その日にふさわしい服装を選びましょう。

◇◇◇◇ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せ下さい。 ◇◇◇◇
壬生野地域まちづくり協議会広聴広報実行委員会 TEL:45-8900

お田植え祭

「みどりの日」の5月4日、春日神社氏子青年会によるお田植え祭が催されました。

この日は少し曇り空でしたが、小学生2年から6年生の12名が神饌田^{しんせんでん}で田植えの体験を行いました。

今年で2年目を迎えたこのお田植え祭。

子供たちは、はっぴと半ズボン姿で神饌田に入り、泥に足を取られながら氏子青年会の皆さんの指導のもと、「コシヒカリ」の苗を2、3株手にして田植えを楽しみました。

9月末ごろに収穫し、12月2日に春日神社と伊勢神宮に献米する予定だそうです。子供たちご苦労様でした。



【メモ】 お田植祭(おたうえまつり)は、寺社や皇室の領田で行われる行事であり、稲作の成功をあらかじめ祝う予祝の神事および芸能である。新春の予祝行事として行われるものと、田植えの時期に行われる場合とがあるが、どちらも農作業の行程を模擬的に演じ豊作を祈念するものである。日本人と稲作との長く深い係わりを示すものとして日本全国にこの種の行事が伝承されている。収穫までの全生産過程を演じる例は少なく、田植で終わるいわゆる御田植祭が多いといわれている。

苦しい田植えの作業を楽しくしようとする方法として田植歌を歌いながら田植えをするという風習があり、田の神を祀って豊穰^{まっほうじょう}を願う農耕儀礼と結びつき祭礼となったのが起源であるとされています。

♪♪♪バラが咲いた ハラが咲いた♪♪♪

ヤマギシ春日山のバラの花が一斉に咲いて、今、見ごろを迎えています。

6月始めぐらいまで綺麗です。

写真はいつもバラの世話をしている亀井さんです。

きれいなお花 見に来てく
ださい。お待ちしております。

— ヤマギシだより —



3、しらふじの会は、健康福祉の実行委員、各区の福祉協刀員、民生委員、児重委員の実行委員会をつくって推進した。実行委員の皆さんには、積極的に協力をいただいたことがなりよりもよかった。

参加者からも「楽しかった」、「三年若返った」などの声を聞かせてもらった。

4、健康講演会では、伊賀市の保健師さんの出前講座を実施したが、参加者にわかりやすく、今から何をしていけばよいのか、よく理解できた。

◆反省点◆

○参加者にこだわることなく、まちづくりの健康福祉を推進していきたいが、全住民がどのようなことを望んでいるのかなどの声が聞ける場としたい。

○実行委員メンバーには、各区の民生委員・児童委員や福祉協力員が入っていることが各区への伝達や意見収集に役に立った。また、壬生野地域の「健康の駅長」さんの参加により、各事業のリーダーシップをお願いできた。

○交通安全の範囲になるが、夕方や夜の歩行には、蛍光の入ったタスキや腕章をつけるようお願いしたい。特に、高齢者は、車に対する反応が弱くなっているため、是非、蛍光タスキ、腕章の携行を啓発していきたい。

○健康講演会を重ねてきているが、日常生活への反映、取り組みにどう繋がっているのかアンケートなどをとりたい。

○社会福祉協議会が打ち出している地域での福祉活動を考慮していきたい。

○ウオーキングの4月実施(桜が咲く頃)を検討したい。

○健康講演会の参加者が31名と少なめであったが、今までの参加者と新しい顔ぶれも何え、よい面もあったのではとの意見もある。今後も医師や出前講座などの身近な講師を招聘して実施していきたい。



人権・同和実行委員会



当委員会の取り組みの窓口が広いので、今年度は同和問題の早期解決にむけての研修、国際交流(壬生野まつり)と、男女共同参画(交流会)などの事業の一端を終えることができました。

あらゆる人権問題の解決にむけての勉強会(研修)は無理でした。それで3年前に伊賀市が実施した人権に関するアンケートの結果を考える時、同和問題に対する市民の意識があまりにも低いのではないかと思います。

そこで、「同和問題の解決に向けて」を中心に取り組んではどうかと考えました。しかし、「また、同和か」と言われる人もありますが、はたして本当に他人事であっていいのか。「同和問題」も含めて「人権問題」は、すべて「自分の問題」としての理解を高めてもらうのが当委員会の役割であると思います。

◆反省点◆

今後の取り組みとして、今年度できなかったことを次年度に実施する。それには、地域(区民、学校(保護者))との連携が必要であり、人権意識を高揚するため参考となる材料の提供も重要であると思います。

そのための具体案として①リーダー研修(内容のあるもの)、②地区懇談会との連携を図るため、視察研修がまず一歩であると思います。

